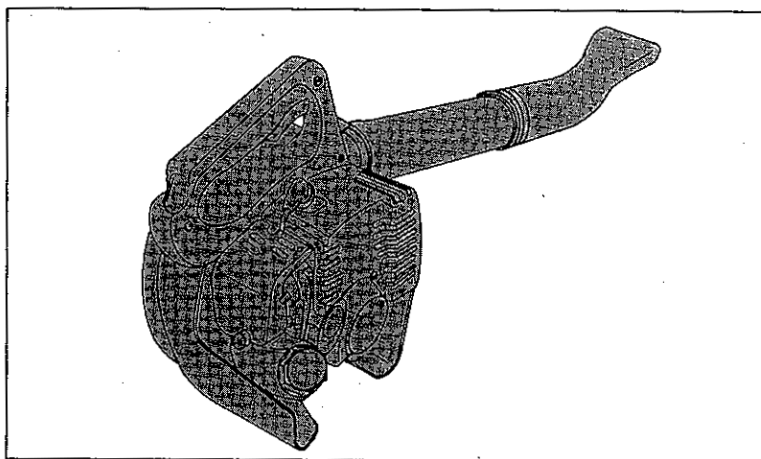


取扱説明書

シバウラブロー HB26



株式会社IHシバウラ

▲
当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をよくお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保管してください。

はじめに

1. この取扱説明書はプロアの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
2. お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
3. 製品を取扱説明書なしで貸し借りをしないでください。プロアを使用する人は必ず取扱説明書を読み、安全を理解してから使用してください。
4. 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しくください。
5. この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
6. なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなど一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
7. ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店にご相談ください。
8. ⚠印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。



注意

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

もくじ

1. 安全にご使用いただくために	2
2. 警告表示マーク	5
3. 各部の名称	6
4. プロアの組立	7
5. 運 転	8
6. 点検と整備	11
7. 故障と対策	14
8. 仕 様	16

1. 安全にご使用いただくために

危 険

- ガソリンは極端に発火しやすい燃料です。もし洩れたり、スパークした場合は火事の原因ややけどあるいはプロアを破損する原因となります。ガソリンを取扱う場合やオイルを混合する場合は特別の注意をしてください。煙草をすったり、その他の火を燃料に近づけてはいけません。洩れたり、こぼした場合は速やかにふきとってください。
- 給油口に火を近づけると火災になるおそれがあります。
- エンジン回転中や、エンジンが熱い間は、絶対に給油をしないでください。燃料などに引火して火災の原因となることがあります。
- 燃料パイプが破損していると、燃料もれをおこしますので、必ず点検してください。火災を引き起こすことがあります。



警 告

- 室内および換気の悪い場所での運転は排ガスが充満し、人体に有害です。
 - プロアを始動したり、運転する場合、人や動物などは15m以上遠ざけてから一人で操作してください。
- 思わぬ傷害事故の原因となることがあります。





注意

- ブロアは木の葉や刈り取った草を掃除したり広場、スタジアム、公園で紙くず、ほこり、あるいは軽い雪を吹きとばすことに使用できます。又歩道、屋根、溝、車庫などの掃除が出来ます。
- ブロア作業は1人で作業してください。
- よく見える昼間だけ使用して、夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- ブロアを、落葉、小枝、ごみくず、刈葉等の掃除以外の目的で使用しないでください。
- 健康状態は良好でなければなりません。疲労している時はブロアを使用しないでください。ブロア作業で疲れた時は休んでください。又視力、機敏さ、判断力をそのような精神状態や薬、アルコールなどの影響を受けている時もブロアを使用しないでください。
- 子供や取扱の指導を受けていない人には使用させないでください。
- 使用前は、機械各部の点検を行ないネジ類のゆるみやその他の欠点、損傷はないか確認してください。又、燃料もれはないかを確認し、異常のないことを確認してください。
- 作業前に作業場の空缶、針金、ガラス片等の有無を確認し、ある場合は取り除いてください。
- エンジンを始動する時は周囲に十分注意し、ブロアパイプが地面やその他の物体にブロックされていないことを確認してください。
- 右手でグリップをしっかりと握ってください。スロットルレバーが湿っていたり、オイル、グリスが付いていたらきれいにしてください。
- 作業者は、足場に十分注意し、不安定な体勢はさけ、十分に安定した姿勢で作業し、手袋、ヘルメット、防護メガネ及び耳栓を着用してください。継続的又は常用のユーザーは定期的に聴力を検査してください。
- 服装は丈夫できちんと合ったものでしかも自由に動けるものを着用してください。だぶついているジャケット、ひらひらしたものが出ている服、すその折り返しが付いたズボン、スカーフ、長髪などブロア空気吸入口に吸い込まれるような服装はしないでください。又足を守るために長いズボン、長靴をはいてください。
- 決して人のいる方向へ吹きつけないでください。



- プロアパイプはいつもきれいにし、割れ、曲がり等がないか確かめてから使用し、異常がある場合は絶対に使用しないでください。
- 危険を感じたら直ちにエンジンを停止するかして、プロアを身体からはなしてください。
- 運転中はもとより、停止後もしばらくマフラやエンジン本体は高温ですので、触れないように注意してください。触れるとやけどのおそれがあります。
- 高速での運転時には、プロアを地面に置かないでください。砂、草、ほこりなどを空気吸入口から吸い込んでファンを破損することがあります。
- プロアを長時間連続して使用すると振動のために指の血管が痙攣性収縮をおこしたり、指の色が蒼白くなりずきずき痛んだりすることがあります。従って継続的又常用のユーザーは手や指の状態をよく把握し、もし徴候があったら直ちに医師の診断を受けてください。
- 一日の作業時間は2時間以内にしてください。疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。30～40分作業したら10～20分休憩してください。
- 電気ショックを受ける可能性がありますので作業中は点火プラグ部高圧線に触れないでください。
- 作業中に立ち話は絶対にしないでください。話しをする時はエンジンを止めてください。
- 作業を中断したり移動する時は、必ずエンジンを停止してください。
- 車でプロアを運ぶ場合はひっくりかえらないようにしっかり固定してください。
- どんな場合でもプロアを勝手に改良しないでください。

2. 警告表示マーク

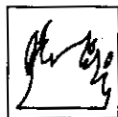
- 出来るだけ説明をわかりやすくするために、ブロー本体や取扱説明書には次の様なマークを使用しています。



特に重要な取扱上の警告事項です。ここに説明された事項については、まちがった取扱いをすると重大な事故や機械の故障の原因になりますので必ず守ってください。



ブローをご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。



ガソリンを取扱う場合、煙草を吸ったりその他の火を燃料に近づけてはいけません。給油口に火を近づけてはいけません。ガソリンは極端に発火しやすいため、火事の原因ややけどあるいはブローを破損する原因となります。



室内および換気の悪い場所での運転は排気ガスが充満し、人体に有害です。

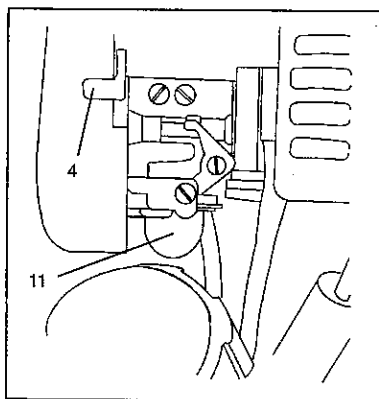
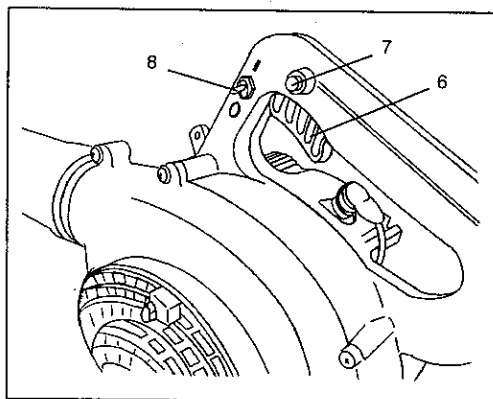
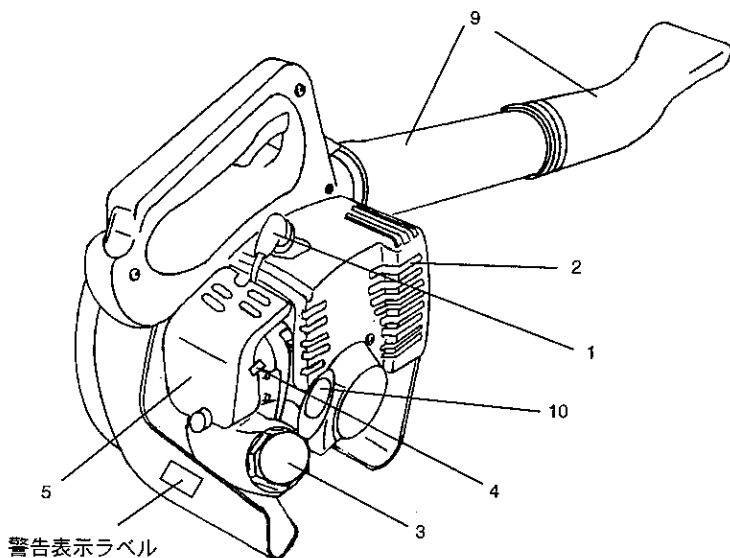


作業時にはヘルメット、防護メガネ、耳栓を必ず着用してください。

- 警告表示ラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

3. 各部の名称

下図のラベルには、安全に作業していただくために、特に重要な項目が書かれておりますので、必ず読んでおまもりください。



1. 点火プラグ

5. エアクリーナ

9. ブロアパイプ

2. マフラ

6. スロットルレバー

10. スタータハンドル

3. 燃料タンクキャップ

7. スロットルレバーロックボタン

11. プライミングポンプ

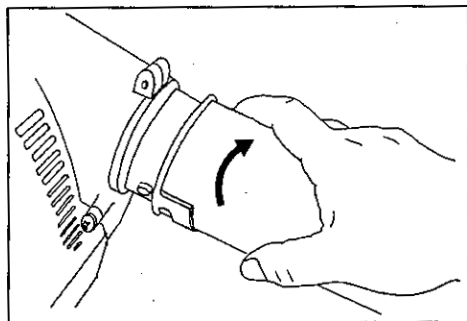
4. チョークレバー

8. ストップスイッチ

4. ブロアの組立

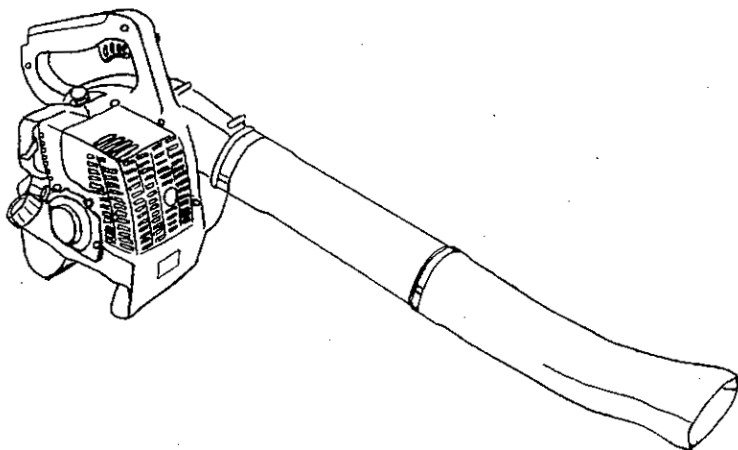
⚠ 注意

- 決して整備や組立手順を怠ってエンジンを始動してはいけません。結果として重大な事故を引き起こします。



● プロアパイプを差し込む。

1. プロア本体の切り欠き部にストレートパイプの溝を合わせ、しっかり奥まで差し込み、矢印の方向にねじ込みます。
2. 同様にしてカーブパイプの溝をストレートパイプ切り欠き部に合わせねじ込みます。吹き出し口の向きについては下図を参考にしてください。



5. 運 転

1) 燃 料

- 燃料は普通の自動車用レギュラーガソリンに2サイクル専用オイルを混合した混合油を使用します。

混合比 (容積比)

ガソリン：2サイクル専用オイル (JASO FB級)

25 : 1

- 燃料タンクに燃料を8分目まで入れてください。

⚠ 危 険

- ガソリンは火気に充分注意をして取扱ってください。(爆発の危険性があります。)

⚠ 注 意

- ガソリンだけで運転するとエンジン焼付をおこします。
- 変質した燃料 (酸っぱい匂いがする。), 誤った混合比の燃料は使用しないでください。(始動不良や出力不足等のエンジン不調の原因になります。)
- 燃料がこぼれたら必ず拭き取ってください。衣服の汚れや火災の原因となります。
- 4サイクルエンジン用オイルは使用しないでください。(プラグ汚損やピストンリング固着, マフラー詰まりなどの原因となります。)

2) 各部の点検

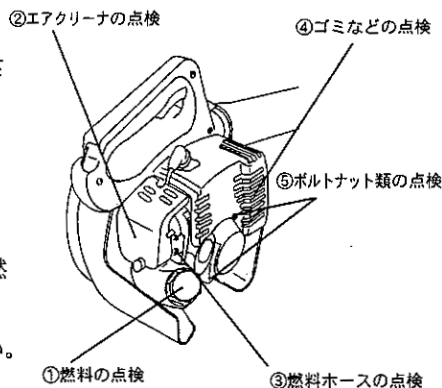
- エンジン運転前には必ず点検してください。

① 燃料の点検

- ・ 燃料は入っていますか。
- ・ 古くなった燃料を使っていませんか。
(上記「1)燃料」の項目に従い正しい燃料を補給してください。)
- ・ タンクキャップは確実にしめてください。

② エアクリーナの点検

- ・ エアクリーナエレメントが汚れていませんか。(汚れていたり, オイル分が乾燥している場合は12頁「日常の手入れ」の項目に従い点検・整備をしてください。)



③ 燃料ホースの点検

- ・燃料ホースのひび割れや亀裂、フューエルタンク、キャブレタへの差込み部からの抜けはないですか。（もしあれば燃料が漏れて、火災・爆発の原因になりますので必ずホースの交換又は整備をしてください。）

④ ゴミなどの点検

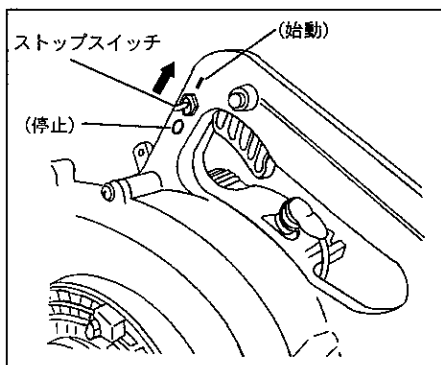
- ・冷却フィン、マフラ周辺及び冷却風吸込み口にゴミや草などが詰まっていませんか。（詰まっていたら取り除いてください。）

⑤ ボルト・ナット類の点検

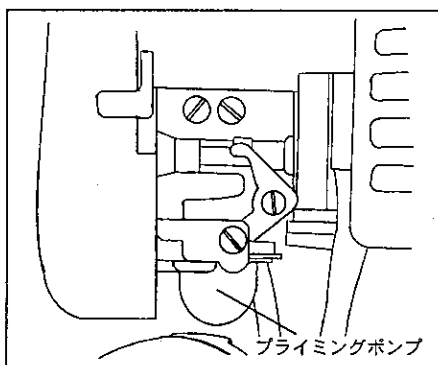
- ・各部のネジやナット類のゆるみ、脱落などはないですか。（ゆるみ、脱落あれば整備してください。）

3) 始 動

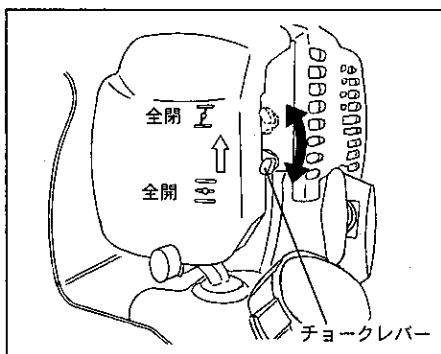
[A] エンジンが冷えている時、及び燃料が切れた場合



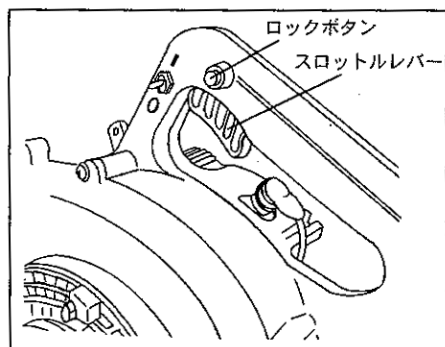
- ① グリップのストップスイッチを "I" (始動) にします。



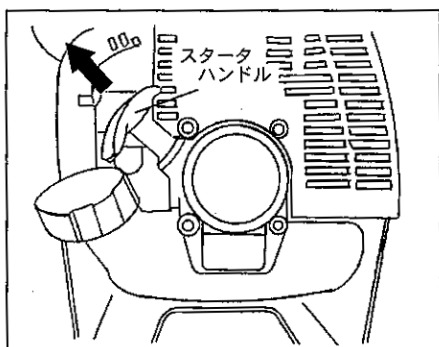
- ② プライミングポンプの操作荷重が大きくなるまで繰り返し押ししてください。



- ③ チョークレバーを全開にします。



- ④ スロットルレバーを全開にし、ロックボタンを押します。ゆっくりスロットルレバーを戻し、ロックさせます。



- ⑤ リコイルスタータを勢いよく引くと始動します。始動せず爆発音のみの場合には、チョークレバーを全開にして再始動してください。始動後、チョークレバーはエンジンの調子を見ながら徐々に全開にします。

〔B〕 エンジンが暖まっている場合（エンジン停止後、再始動する場合）

- ① チョークレバーを全開にします。
 - ② スロットルレバーをロックボタンで固定します。
 - ③ グリップのスイッチを "I"（始動）にします。
 - ④ リコイルスタータを勢いよく引きます。
- プライミング操作を行うと始動が容易になります。

お願い(1)

始動操作を何回繰返しても始動しない場合は吸い過ぎの状態が多いので、スイッチを "O"（停止）の位置にし、スロットルレバーを全開とし、点火プラグを抜いた状態でリコイルを数回引いてください。余分な燃料を蒸発させた後にスイッチを "I"（始動）にし、再始動してください。

お願い(2)

エンジンが始動したら、スロットルレバーを軽く開け、ロックを解除し、アイドルリング回転までエンジン回転をさげてください。

4) プロアの作業

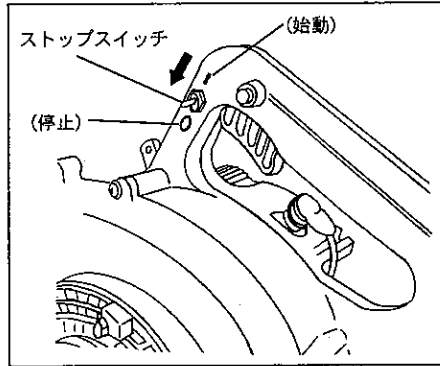
- エンジン暖機後、プロアは作業可能となります。
- 右手でグリップをしっかりと持ち、作業に必要な回転速度で安全に作業してください。（スロットルレバーロックボタンで固定すると作業が容易です。）

⚠ 注意

- 疲労を感じていたり、体調の良くない時はプロア作業をしないでください。
- 安全装備のない場合、不安定な足場など、作業に適さない時は、プロア作業をしないでください。

5) 停止

- ① ロックを解除し、アイドリング状態で2～3分プロア本体を冷却します。
- ② ストップスイッチを"0" (停止)の位置にし、エンジンを停止させます。



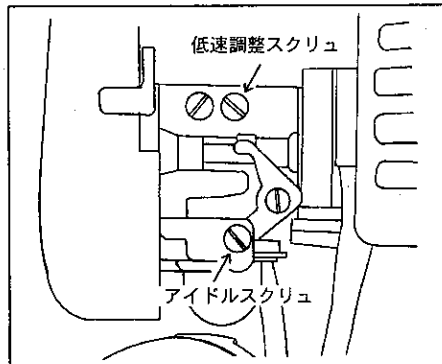
6. 点検と整備

1) ダイアフラムキャブレタの調整

- キャブレタは出荷時に調整されていますから、不必要に調整スクリュを動かさないでください。
- 再調整が必要になった場合には、下記の要領で行なうか、又はお買上げいただいたお店、又はお近くの販売店にご相談ください。

① アイドリング調整

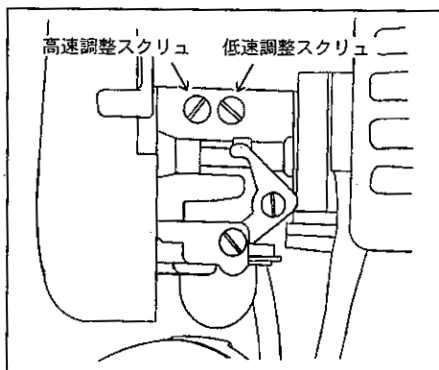
- 低速調整スクリュでアイドリング回転が円滑になるように調整してください。
- 低速調整スクリュの標準開度は1 (全閉から戻す開度) です。調整の範囲は $\pm 1/4$ が標準です。
- スロットルレバーを全閉まで戻し、エンジンが安定して回る位置に調整します。



- アイドリング回転速度 2,800~3,000min⁻¹
- アイドルスクリュ 右に回す…回転が上がる
左に回す…回転が下がる

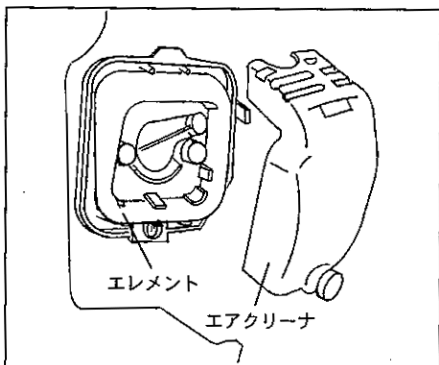
② 高速調整

- 高速で運転し、高速調整スクリュを回して回転が円滑、且つ加速のスムーズな位置にセットしてください。
- 高速回転速度 7,500~8,000min⁻¹
- 高速調整スクリュの標準開度は1（全閉から戻す開度）です。調整の範囲は±1/4が標準です。



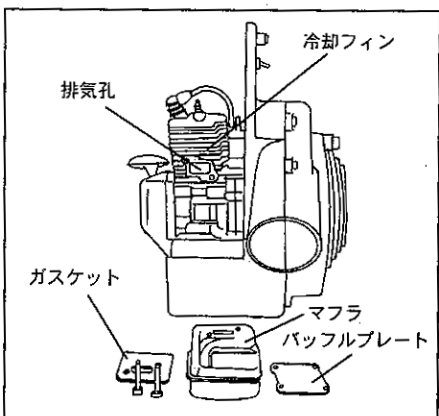
2) 日常の手入れ

- プロア全体の草やほこりを取除き、特に冷却空気通路やエアクリーナ部分の付着物に注意してください。
- エアクリーナのエレメントが汚れたら中性洗剤又は洗油で洗い、固く絞ってから使用してください。
- 各部締付部分のゆるみ、部品の脱落を調べ燃料もれがないか点検してください。



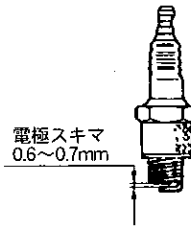
3) 50時間ごとの点検

- マフラ・シリンダの清掃
シリンダ排気孔やマフラ入口、出口にカーボンが附着しますと出力が低下しますので、マフラを取外して清掃してください。
- シリンダ冷却フィンにゴミやホコリが詰まっている時は、エンジンカバーを外し、清掃してください。



● 点火プラグ電極スキマの点検

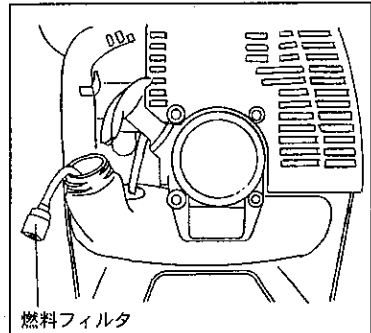
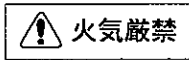
点火プラグの電極部が破損したり、カーボンが付着した場合は、紙ヤスリ等でみががいて電極スキマを0.6~0.7mm(ハガキ3枚分)に調整します。



● 燃料フィルタの清掃

針金等で燃料注入口から引出してきれいな白灯油で洗浄します。

汚れがひどい時は、フィルターを交換の上、タンク内も清掃します。



4) 長期保管

- 長期保管の場合は各部分を十分清掃し金属部品には薄くオイルを塗ってください。
- 燃料タンクの中の燃料を抜き、ガソリンをアイドリング状態で燃料を使い切るまで運転してください。
- 点火プラグの孔からオイルを少量流し込み2~3回コイルスタータを引き、圧縮のある点で止めてください。
- 損傷個所のある場合は修理してください。

7. 故障と対策

1) まったく始動しない。

- ① 燃料タンクに燃料が入っていますか。…… (確認の上補給)
- ② 燃料に水など混入していませんか。…… (点検, 交換)
- ③ 変質した燃料 (酸っぱい匂いがする。) を使用していませんか。…… (点検, 交換)
- ④ 燃料の吸い過ぎではありませんか。…… (点火プラグ点検) ……13頁参照
- ⑤ 燃料フィルタがつまっていませんか。…… (点検, 清掃, 交換) ……13頁参照
- ⑥ 火花がでますか。…… (点火プラグの点検, 清掃, 交換)
…… (イグニションコイルの点検, 交換)
…… (高圧コード, アース線の点検, 修理, 交換)
- ⑦ 圧縮がありますか。… (オイルシールの点検, リップ不良は交換)
… (シリンダ, ピストンリングの点検, 交換)
… (シリンダ取付面の点検, ボルトの増締, ガスケット交換)

2) 始動後回転が上がらない。

- ① チョークは全開にしましたか。…… (点検)
- ② 点火プラグは汚れていませんか。…… (点検, 清掃, 調整) ……13頁参照
- ③ 燃料の混合比を誤りませんでしたか。…… (点検) ……8頁参照
- ④ 燃料に水など混入していませんか。…… (点検, 交換)
- ⑤ キャブレタの調整は適正ですか。…… (点検, 調整) ……11頁参照
- ⑥ キャブレタのインシュレータ, ガスケットが破損していませんか。…… (点検, 交換)
- ⑦ 燃料ホースなどのヒビ割れなどがありますか。…… (点検, 交換)

3) 回転は続くが出力が十分でない。

- ① エアクリーナのエレメントが汚れていませんか。… (点検) ……12頁参照
- ② 冷却風通路やシリンダフィンにゴミが詰まっていますか。…… (点検, 清掃) ……12頁参照
- ③ キャブレタの調整は適正ですか。…… (点検, 調整) ……11頁参照
- ④ シリンダ排気孔やマフラー入口, 出口にカーボンが詰っていませんか。…… (点検, 清掃)
- ⑤ シリンダ燃焼室にカーボンが付着していませんか。 (分解, 清掃)

4) 運転中回転が次第に下がり停止する。

- ① 燃料の混合比が適正ですか。…………… (点検) …………… 8 頁参照
- ② 燃料に水など混入していませんか。…………… (点検, 交換)
- ③ 燃料系統 (燃料フィルタ,ホース,キャブレタ)
にゴミなど詰っていませんか。…………… (点検, 清掃, 交換)
- ④ キャブレタのダイヤフラムは正常ですか。…………… (点検, 交換)
- ⑤ 火花は正常に飛んでいますか。
…………… (点火プラグ, イグニッションコイル, 点検, 清掃, 交換)
- ⑥ 内部異常音がしていませんか。…………… (エンジン内部の点検, 修理)

5) ブロアが正しく作動しない。(弱い)

- ① ブロアパイプが詰まっていますか。…………… (点検, 清掃)
- ② ブロアパイプが損傷していませんか。…………… (点検, 修理, 交換)

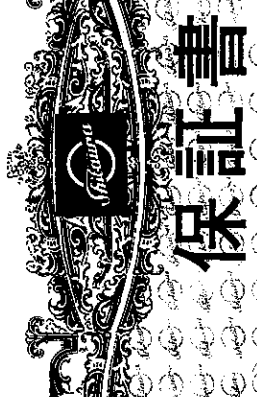
6) 振動が大きい。

- ① ブロアパイプの差し込み部が緩んでいませんか。(点検, 増締め)
- ② ブロアパイプが損傷したり, 曲ったりしていませんか。…………… (点検, 修理, 交換)
- ③ 各部締付部のボルト, ナットなどが緩んでいませんか。…………… (点検, 修理)

8. 仕 様

		仕 様
名 称		HB26
長 さ (mm)		347
幅 (mm)		225
高 さ (mm)		341
重 量 (kg)		4.0
エンジン型式		M26D (空冷2サイクル 単気筒)
ボア × ストローク (mm)		33 × 30
排 気 量 (cm ³)		25.6
エンジン出力 (kW/min ⁻¹)		0.9/7500
気 化 器		ダイヤフラム式
点 火 プ ラ グ		NGK BPMR 7 A
燃 料	混 合 比	(ガソリン 25~30 : オイル 1)
	タンク容量 (cm ³)	500
最 大 風 量 (m ³ /min)		8.5 (300 CFM)
最 大 風 速 (m/s)		60 (130 MPH)

※ この仕様は予告なく変更させていただくことがあります。



このたびはシバラプロアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおri保証をいたします。

保証期間

納入日から起算して満一ケ年とします。

保証内容

保証期間内に於いて、本機を構成する部品、材料等に、取付及び製造上の欠陥が認められた場合には、保証期間内に限り、弊社が認めた通知店、修理工場、サービス工場等で当該部品の取り替えまたは修理を無料といたします。

適用除外

保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。

- (1) 取扱い説明書に示す正常な取扱い、保守点検、整備が実施されなかった場合。
- (2) 使用上の不注意、過失によって故障が生じた場合。
- (3) 弊社が規定する仕様の限定し、プロアの用途、回転速度を超えて使用し故障した場合。

(4) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。

(5) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。

(6) 弊社が認めた販売店、修理工場、サービス工場以外で修理され、故障した場合。

(7) 故障判定資料の不十分なもの及び損傷部品を紛失された場合。

(8) 消耗部品及び延伸変化により発生した不具合

(9) 保証書の提示がない場合は有償となることがありま

す。

(10) 保証書を紛失した場合は再発行いたしませんが、上記保証書の提示がない場合は有償となることがあります。



YAMAHA SHIBAURA 株式会社

お問い合わせは…



株式会社IHISHIBAURA

トラクタ・グリーン事業部

〒390-8714 長野県松本市石芝1-1-1

TEL 0263-88-0200 FAX 0263-27-0380

URL www.ih-shibaura.com

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				